

教材教具名 「中2ー1 カフェ・店員の動きと挨拶表 (福島県特別支援学校作業技能大会喫茶接客サービス検定指導書より引用) とカフェセット」

1 ポイント (特に工夫した項目に○ いくつでも)

教材教具の工夫	
1 実態に合っているか?	○
2 ねらいが明確か?	○
3 興味関心を生かしているか?	▲
4 シンプルで誰でも再現可能か?	○
5 一目で動作をイメージできるか?	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか?	▲
7 実際の生活や他の場面で生かせるか?	▲

作成者：加藤良一 (中学部)



3 教材教具のねらい

- ・自信をもって基本的なカフェの接客をすることができる。

2 生徒の実態 (学級グループ)

- ・調理活動や人との会話などを楽しむことができる学級である。
- ・基本的な返事や挨拶はある程度できる。
- ・人と関わる際に、恥ずかしがる生徒や関わり方が過度になりがちな生徒など様々である。
- ・イラストや簡易な文章の内容を理解することができる。

4 改善の経緯

(1) 7月頃のカフェ練習時の使用例と生徒の様子

- ・教師が提示する教材のシートの挨拶の内容を一生懸命読んでいた。
- ・シートの文章を読むことで、このような挨拶をすることを理解できた。
- ・しかし、シートが無いと、何と挨拶すればよいか分からなくなってしまった。

(2) 2回目のカフェオープン時 (9月) の使用例と生徒の様子

- ・一回、教材の挨拶表を読む程度で、おおまかに表現内容を確認する。
- ・使う物を順番に並べた物を見ることで、段取りを把握し、自分なりの表現内容や身振りなどを用いて接客することができるようになった。
- ・発語が不明瞭な生徒も、発音の明瞭さよりも、笑顔で身振りを大きく使って表現豊かに接客することができた。

改善のポイント!!

- ・用意した教材「店員の動きと挨拶表」を後半は見ないようにする。
- ・同時に、どんな順番で接客するかが分かるように、「①水・おしぼり②伝票③料理」に使う物をテーブルに並べる。



今後の改善や使用について

- ・目的となる行動と見通しをしっかりとち、自分なりの表現が豊かになるように、教材教具の使い方、または減らし方を考える。